

各位

インドネシア投資省（BKPM）投資促進政策アドバイザー  
JICA（国際協力機構）専門家・天谷浩之

**目的：**インドネシア政府構想・投資誘致プロジェクト

『インドネシア加工一体型水産プロジェクト』に関わる視察会へのご関心伺い  
ー水産加工品メーカーのインドネシアでの新たなビジネス機会に関わるご案内ー

**ご案内の背景：**

インドネシアマルク州アンボンでの水産加工品の生産に関する投資機会についてご案内させていただきます。

インドネシア政府は現在、国家産業開発マスタープラン(2015-2035)にもとづき下記 10 産業を重点セクターに挙げ産業開発に取り組んでおります。

- 1.食品産業 2.医薬品・化粧品・医療機器産業 3.繊維、皮革、履物、その他産業
- 4.輸送機器産業 5. エレクトロニクス・テレマティクス・ICT 産業
- 6.エネルギープラント産業 7.サービス産業 8.川上の農業
- 9.卑金属および非金属鉱物産業 10.石油・ガス・石炭化学産業

この中で、1 の開発方針においてインドネシアの豊富な水産資源を生かした輸出拡大を図るべく水産セクターにおける下流産業の振興を掲げ、特に世界最大の漁獲量を持つマグロについて現状十分な輸出機会が得られていないとして、今後 2030 年にかけて世界のマグロ市場が年 3 % 近い成長が予測される中で冷凍マグロに止めず、フィレ、缶詰製品の生産と流通拡大を図ることを喫緊の課題としています。

同課題解決に向けた取り組みとしてインドネシア政府は、水産セクターの下流産業の振興に向け、現状インドネシアでのフィレマグロ、ツナ缶生産量の 16.45%を賄い、インドネシアで最も漁獲量の多いマルク州アンボンでの加工一体型水産プロジェクトを構想し、投資省(BKPM)が窓口となってマグロの消費量、輸入量の多い日本をはじめ広く外国企業からの投資を呼びかけ、外資企業の協力を得ながら下流産業の育成を図ろうとしております。

#### 《プロジェクト名》

Integrated Capture Fisheries with its Processing Project

#### 《プロジェクトの目的》

水産資源（マグロ）の輸出拡大に向けた下流産業（水産加工）の振興

#### 《プロジェクトサイト》

インドネシアマルク州アンボン

Salahutu District, Central Maluku Regency, Maluku Province

### 《公募中の事業活動/インドネシア事業分類コード》

- ・マグロの冷凍業/10213：外資 100%での参入可
- ・魚の缶詰/10221：インドネシア資本の協同組合及び中小零細企業とのパートナーシップによる参入が条件

### 《生産品と生産目標》

Product 1: フィレマグロ（輸出と国内市場向け） 3,600 トン/年

Product 2: ツナ缶（輸出と国内市場向け） 3,600 トン/年

プロジェクトサイト、生産容量、想定する市場規模、インフラ状況、投資価値分析等、インドネシア政府が実施した本プロジェクトのFS情報が下記ウェブサイトに記載しておりますのでご一読いただけましたら幸いです。

<https://regionalinvestment.bkpm.go.id/pir/peluang-investasi/detail/?id=1273>

### ご案内の趣旨（現地視察会へのご関心伺い）：

主として日本を含む世界のマグロ市場への輸出を企図した本プロジェクトについての詳細情報の収集にご関心をお寄せいただける企業さまが複数おられるようでしたら、BKPM 主催にて現地視察会を企画したいと考えており、これにつきまして各社さまのご関心の程をお伺いいたしたくご案内させていただいた次第です。

視察会では BKPM からのプロジェクトの詳細説明はもちろん、本プロジェクト構想の背景、本プロジェクトに関わる産業セクターの現状と政府による振興施策、本プロジェクトについてインドネシア政府が実施した市場調査の報告、本プロジェクトに参画した場合の各種インセンティブや事業実施にあたっての許認可の詳細、プロジェクト関連施設の視察、水産物供給事業者などプロジェクト関係機関・企業とのネットワーク等のプログラムを用意させていただく予定です。

さらに、同視察プログラムの一環として、工業省はじめインドネシア政府の協力を得て、本プロジェクトに参画される日本企業がいらした場合に当該企業との取引（バイヤー、サプライヤー、ディストリビューター、技術協力等）を希望する実績のあるインドネシア企業を選定し、当該企業らによるプレゼンテーション、名刺交換会を実施しながら本視察会参加企業の販路開拓等のお手伝いもさせていただきたいと考えております。

### （視察会にご関心のある企業さま）

つきましては、当方で想定しております下記視察会スケジュール案をご参照のうえ、FS 活動の一環として本視察会へのご参加にご関心のある企業さま（業種は問いません）におかれましては 2024 年 5 月 31 日（金）までに JICA 専門家（天谷）宛にご連絡をいただけますと幸いです。視察会を企画させていただくことになりました場合はご連絡者さまに直接ご案内差し上げます。

ご連絡の際は、下記事項をご教示ください。

- ・ JICA 民連事業利用企業またはジャカルタジャパクラブ会員企業である旨
- ・ 企業名 ・ 連絡者名 ・ メールアドレス ・ ご関心のあるプロジェクト名 (複数可)

(ご連絡先)

インドネシア投資省投資促進政策アドバイザー 天谷浩之

[amaya.jica.bkpm@gmail.com](mailto:amaya.jica.bkpm@gmail.com)

携帯電話：+62-(0)81119527174

#### 視察会スケジュール (案)：

現状以下のようなスケジュールを想定しておりますが、実施前に他国を含む他の企業が投資への関心を表明し、インドネシア政府から追加のプロジェクトサイトの提供が無く本プロジェクトの公募が停止または終了した場合はその時点で本視察会の催行はキャンセルとさせていただきます。その場合、視察会実施予定日二週間前までにご連絡いたします。

《視察会実施時期》 2024 年 7 月上旬から 9 月下旬までの間

#### 《渡航日程 (想定)》

月曜/東京→ジャカルタ (日本や他国からご参加の場合)

火曜/午前：プロジェクト説明(BKPM,海洋水産省等) 於：ジャカルタ市内ホテル

午後：日本企業との取引を希望するインドネシア企業のプレゼンテーション

水曜/午前：ジャカルタ→アンボン (空路移動)

午後：プロジェクトサイト視察第 1 日目 現地泊

木曜/終日：プロジェクトサイト視察第 2 日目 現地泊

金曜/午前：アンボン→ジャカルタ (空路移動)

午前～午後：インドネシア政府との総括質疑応答 於：投資省庁舎

(日本からご参加の場合) 21:00～24:00 の便で日本へご帰国

#### 経費 (想定)：

(参加企業) 参加企業には下記の経費のご負担をお願いします。

航空券代：(国際線) 日本や他国⇄ジャカルタ (日本や他国からご参加の場合)

(国内線) ジャカルタ⇄アンボン空港

宿泊代：ジャカルタ滞在中の宿泊代 (日本や他国からご参加の場合)

アンボン滞在中の宿泊代

飲食代、その他：視察会参加時の飲食代、その他個別行動に伴う諸経費

#### (JICA)

会議室借料：カンファレンスルームの借料 (於：ジャカルタ、アンボン)

車両借上代：現地視察中の送迎車両の借料 (於：ジャカルタ、アンボン)

通訳者 (日本語⇄尼語) 備上代：於：ジャカルタ、アンボン

以上